


カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																					
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17					
																										
18		【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ				3.9				6	7						12	13.3	14	15					
19		【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ	SDGsの取り組みを全社で推進し、同時にWebサイトにて積極的に情報開示を行っている。														12.6								
20		【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	基本	太陽の光や熱、風など自然の力を暮らしに採り入れて、可能な限りエネルギーを消費しない、省エネかつ快適性が高い住宅建築を提供している。								7.2							13							
21		【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ	国家認定商品を利用し、健康に配慮した製品を採用している。															12.2	13	14	15				
22	公正な事業慣行	【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	定期的に管理者教育を実施し、コンプライアンスの徹底を周知している。																				16 16.5		
23		【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	定期的に管理者教育を実施し、コンプライアンスの徹底を周知している。																				16		
24		【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	特許、商標等知的財産権の取得、管理を実施している。															8.2 8.3	9						
25		【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	プライバシーポリシーを策定・公表し、社員には適切な取り扱いを教育している。																					16	
26		【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ																						16	
27		【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ	安全衛生意識の向上や技術などに関する研修等をパートナー企業向けに行う安全協力委員会の実施している。					5						8					10	12	13	14	15	16	17
28		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	製品使用時に想定されるリスクの洗い出しと対策を実施している。			3.9														12.4					
29	製品・サービス	【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	モノやサービスの品質向上に向けて情報共有・改善検討を実施している。															9							
30		【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	太陽光発電システムなどを取り入れたオール電化住宅や自然エネルギーを利用するパッシブデザインなど地球環境に配慮した住宅建築を実施している。							6									12	13	14	15			
31		【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ	高気密高断熱住宅の設計や全館空調システムの採用など省エネルギーで環境負荷が少ない住宅建築を提供している。		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				

	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 (県などの取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																									
					1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17									
																														
32	地域貢献	【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	地域住民が参加できるイベントを開催し、地域活性化に向けた活動を実施している(こども工務店・サンプロカップ・サンプロマルシェ)。また、ネーミングライツを通じてアルウインの支援や松本山雅 FCのオフィシャルスポンサーなど地域のスポーツ発展に貢献している。				4									9		11	12			14	15					17	
33	地域貢献	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	被災地の復旧支援として、被災者の一時的な居住のため仮設住宅建築に協力している。				4													11					14	15			17
34		【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用(地消地産、地産外商)している	チャレンジ	地域のパートナー企業と協力して事業を進めている。住宅建築には県産材杉を標準仕様し、地域の産業に貢献している。														8	9			11	12	13						
35		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	経営理念を明文化し、年1回の経営方針発表会を実施している。														8	9											17
36		【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	法令遵守やコンプライアンスの重要性を周知し、社員の意識向上に努めている。																										16
37		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	チャレンジ	住宅建築に関しては、品質管理の専門部署を設けて各種検査及びお客様サービス体制を構築している。住宅建築以外は、当社で提供している社会・環境への活動をWebサイト、ニュースレターにて情報発信を実施している。																										16
38	組織体制	【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している(※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	チャレンジ	地域社会、パートナー企業、社員、株主・投資家、生活者に向け、積極的な情報開示に努め、継続してコミュニケーションを実施している。																									16	17
39		【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	部門ごとにトラブル回避やリスク軽減に向けて、適切な対策を講じている。																										16
40		【社会的責任】 ・CSR(Corporate Social Responsibility: 企業の社会的責任)の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	SDGsの実現を目指した方針を策定し、事業や活動において貢献。また広報部にて積極的に情報発信を実施している。																										16
41		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	対策委員会を設置し、状況に応じて対策を立案・実施している。																	9			11			13 13.1			16
42		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	雇用を積極的に促進し、研修制度を通して人材育成を推進し、次世代への事情承継を整備している。															8	9										17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
健康・経済面にも配慮した高性能住宅の提供	家全体の温度を均一に保ちランニングコストが少ない独自の全館空調システムを開発している。	1		3				7					12	13				
住まいのトータルサポート体制の構築	耐久性の高い住宅建築だけでなく、アフターメンテナンス、リフォームから中古住宅の流通までトータルで生活者の暮らしを支えていける住生活サービスを展開している。			3				7	8	9		11						

【記載留意事項】

- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。(今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。)
- ・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上(個人事業主等)、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等(※)を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

(※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など)